

さむかわ冬のひまわりが今年で10年目に突入

神奈川県寒川町に位置する JR 相模線宮山駅から徒歩 10 分。そこには、我々のイメージを覆すイベントが行われていました。

寒川町では、冬の風物詩として親しまれている「さむかわ冬のひまわり festival」が開催されており、ひまわり=夏というイメージとは異なり、寒い季節に太陽に向かって咲く姿は、見る人の心を明るくしてくれます。



冬のひまわりを盛り上げるべく、この地では毎年 10 万本以上ものひまわりが 11 月下旬頃に向けて栽培されていきます。畑や花壇を耕し、草取りや種まきなどほぼ人力で行われており、天候によって開花の時期も変化していきます。

10 年という節目の年となる今年は、例年以上に多くの人で賑わっています。地域の方々が大切に育ててきたひまわりと温かなおもてなしが感じられ、このイベントが長く続く理由も見えてきます。

実際にひまわりの摘みとり体験ができ、たくさんあるひまわりの中から選ぶ作業は大変ですが、やりがいのある楽しいものでした。



ひまわり畑の近くには、八方除けで有名な寒川神社があります。参拝と合わせて、冬のひまわりを楽しめるのは、寒川ならではの魅力の1つでもあります。静かな冬の空気の中で、鮮やかなひまわりの黄色は心に残るひとときとなります。



また、少し足をのぼすと川とのふれあい公園にもひまわりが咲いています。こちらは小規模になってしまいますが、約3万本のひまわりが咲き、天気の良い日には富士山とともにひまわりを見ることができるのが大きな魅力であり、贅沢な景色に出会えることもあります。



冬の澄んだ空気の中で楽しむ「さむかわ冬のひまわり」。10年という節目を迎え、寒川神社や川とのふれあい公園とあわせて、寒川の冬散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。

